

山口県感染症発生週報

(第48週:平成29年11月27日～12月3日)

1 全数把握感染症

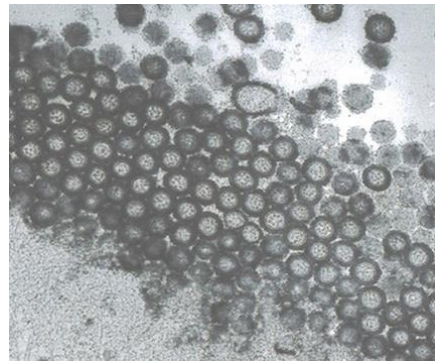
【2類感染症】

・結核:8例(下関、周南6例、山口)

【5類感染症】

・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症:2例(山口)

・急性脳炎:1例(周南)



インフルエンザウイルス

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

- ・インフルエンザ:県全体の定点あたり報告数が流行開始の目安である1.00を上回りました。多くの地域で増加し、下関、周南、山口、長門で発生が多くなっています。迅速検査診断結果でA型陽性が68例、B型陽性が14例、臨床診断・型不明が12例ありました。
- ・RSウイルス感染症:下関、岩国、周南、防府、山口、萩で発生が多い状況です。
- ・流行性耳下腺炎:萩で増加し、警報レベルとなりました。山口で増加し、注意報レベルとなりました。
[警報レベル:萩(1週目)、注意報レベル:山口(1週目)]*

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	46週	47週	48週	疾患名	46週	47週	48週
インフルエンザ	4	53	94	百日咳	0	0	0
RSウイルス感染症	59	66	82	ヘルパンギーナ	5	2	2
咽頭結膜熱	9	13	20	流行性耳下腺炎	13	11	46
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	117	139	157	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	182	189	239	流行性角結膜炎	11	5	16
水痘	16	11	8	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	41	32	12	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	1	0	1	マイコプラズマ肺炎	1	2	5
突発性発しん	27	19	17	無菌性髄膜炎	0	0	0
				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	30	7	1	21	2	24	6	3	0	94
RSウイルス感染症	15	10	0	37	5	9	3	0	3	82
咽頭結膜熱	1	9	0	7	1	1	0	0	1	20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43	2	5	45	5	5	48	1	3	157
感染性胃腸炎	66	14	1	79	7	27	31	5	9	239
水痘	4	0	1	3	0	0	0	0	0	8
手足口病	7	0	0	0	0	2	3	0	0	12
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
突発性発しん	5	0	0	5	0	4	3	0	0	17
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
流行性耳下腺炎	1	0	0	0	1	22	0	0	22	46
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	1	4	0	7	4	0	0	0	16
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	1	0	0	0	4	0	0	0	0	5
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0